

平成28年(2016年) 7月の結果 (二人以上の世帯)

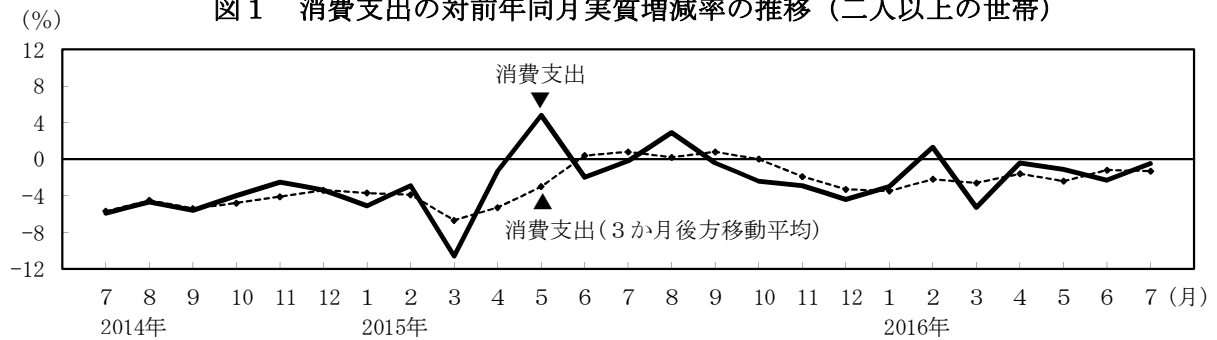
消費支出

・消費支出は,	1世帯当たり 278,067 円	
前年同月比	実質 0.5%の減少	名目 0.9%の減少
前月比(季節調整値)	実質 2.5%の増加	
・消費支出(除く住居等)は,	1世帯当たり 241,782 円	
前年同月比	実質 0.8%の減少	名目 1.2%の減少
前月比(季節調整値)	実質 0.3%の増加	

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



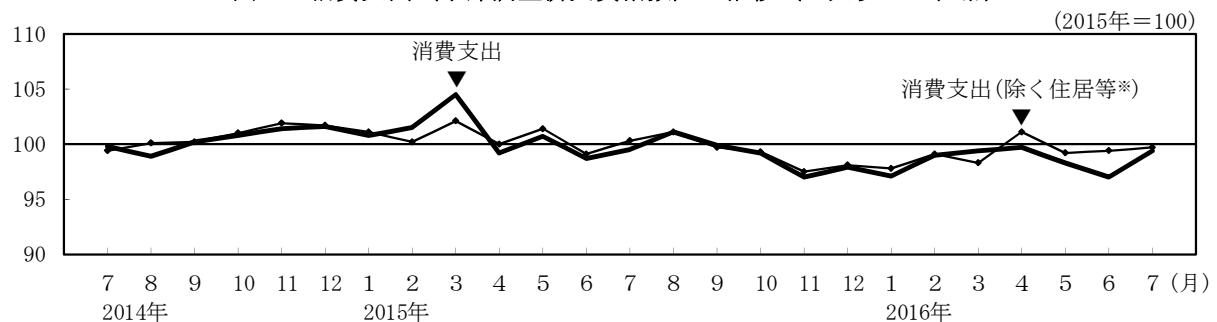
	2015年						2016年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.0	1.3	-5.3	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5
消費支出(除く住居等)	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.7	2.0	-4.3	0.4	-0.9	-0.4	-0.8
(参考) 3か月後方移動平均													
消費支出	0.8	0.2	0.8	0.0	-1.9	-3.3	-3.5	-2.2	-2.6	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3
消費支出(除く住居等)	1.1	0.5	0.8	-0.4	-2.0	-3.3	-3.4	-1.9	-1.9	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8

注1 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

2 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い、2016年1月分から6月分まで(3か月後方移動平均については全期間)の実質増減率を遡及改定した。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年						2016年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	99.5	101.1	99.9	99.2	97.0	97.9	97.1	99.0	99.4	99.7	98.3	97.0	99.4
対前月変化率(%)	0.8	1.6	-1.2	-0.7	-2.2	0.9	-0.8	2.0	0.4	0.3	-1.4	-1.3	2.5
消費支出(除く住居等)	100.3	101.1	99.7	99.3	97.5	98.1	97.8	99.1	98.3	101.1	99.2	99.4	99.7
対前月変化率(%)	1.2	0.8	-1.4	-0.4	-1.8	0.6	-0.3	1.3	-0.8	2.8	-1.9	0.2	0.3

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 2015年平均を基準とする指数に遡及改定した。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年7月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	278,067	-0.9	-0.5	-		5 か月連続の実質減少
食 料	72,945	2.0	0.9	0.23	<増 加> 調理食品,乳卵類など	2 か月ぶりの実質増加
住 居	19,034	8.7	8.2	0.51	<増 加> 設備修繕・維持	4 か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	16,803	-9.6	-2.1	-0.13	<減 少> 上下水道料,ガス代など	2 か月連続の実質減少
家具・家事用品	13,321	8.2	9.1	0.40	<増 加> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	2 か月ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	10,995	-4.8	-7.0	-0.29	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	2 か月連続の実質減少
保 健 医 療	12,924	2.9	2.0	0.09	<増 加> 保健医療サービス	2 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	36,698	-10.9	-8.5	-1.25	<減 少> 自動車等関係費,通信など	2 か月連続の実質減少
教 育	8,649	0.2	-1.4	-0.04	<減 少> 授業料等	3 か月連続の実質減少
教 養 娛 楽	29,140	-2.5	-3.3	-0.35	<減 少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物	3 か月連続の実質減少
その他の消費支出	57,559	1.4	(1.8)	(0.37)	<増 加> 交際費,仕送り金など	2 か月連続の実質増加
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	241,782	-1.2	-0.8	-		3 か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[-0.85]	自動車購入,自動車保険料(任意)
教養娯楽サービス	[-0.39]	外国パック旅行費,国内パック旅行費
通信	[-0.21]	固定電話通信料,郵便料
交通	[-0.20]	鉄道通勤定期代,有料道路料
洋服	[-0.16]	婦人服

< 増加項目 >

設備修繕・維持	[0.80]	外壁・塀等工事費,設備器具
交際費	[0.54]	贈与金
家庭用耐久財	[0.27]	エアコンディショナ,電気洗濯機
調理食品	[0.18]	そうざい材料セット,弁当

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

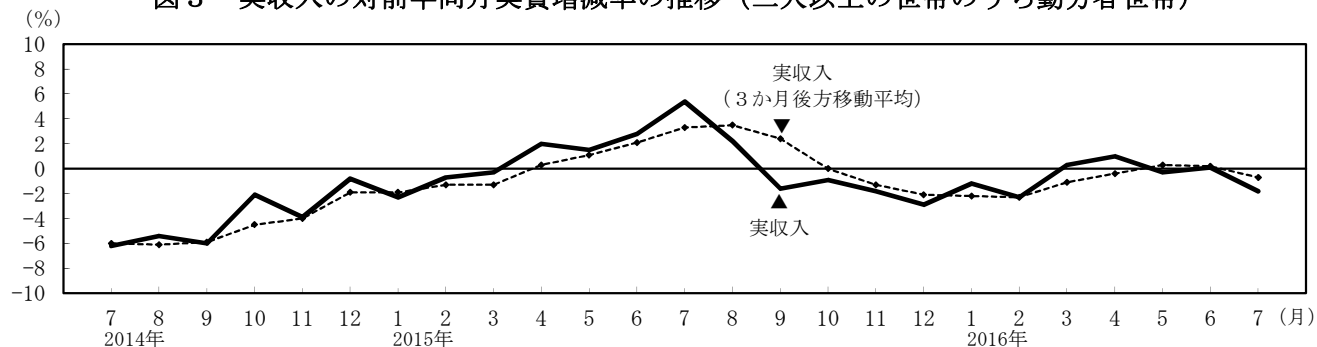
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 574,227 円
 前年同月比 実質 1.8%の減少 名目 2.2%の減少

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



	2015年						2016年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実 収 入	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9	-1.2	-2.3	0.3	1.0	-0.3	0.1	-1.8
(参考) 3か月 後方移動平均	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	-1.1
実 質	3.3	3.5	2.4	0.0	-1.3	-2.1	-2.2	-2.3	-1.1	-0.4	0.3	0.2	-0.7

注 消費者物価指数の2015年基準改定に伴い、2016年1月分から6月分まで（3か月後方移動平均については全期間）の実質増減率を適及改定した。

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳（2016年7月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	574,227	-2.2	-1.8	—	2か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	477,775	-2.1	-1.7	-1.44	4か月ぶりの実質減少
定 期 収 入	343,637	-1.6	-1.2	-0.75	2か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	134,137	-3.3	-2.9	-0.69	
配 偶 者 の 収 入	72,735	-4.5	-4.1	-0.54	2か月連続の実質減少
他の世帯員収入	9,048	10.9	11.3	0.16	4か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	106,091	-7.8	—	—	2か月連続の減少
可 処 分 所 得	468,137	-0.8	-0.4	—	2か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	302,422	-3.9	-3.5	—	3か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると69.3%で、前月に比べ0.1ポイントの低下となった。
	64.6	66.7	-2.1		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。